

EVENTS

KWANSEI GAKUIN JUNIOR HIGH SCHOOL

■ 学校説明会 要予約

申し込みについての詳細は、本校ウェブサイトをご覧ください。(応募多数の場合は抽選)
対象: 小学校4年生以上、保護者同伴

第1回 午前の部	6/24 (土) 9:30~12:00	第1回 午後の部	6/24 (土) 13:30~16:00
-------------	-------------------------------	-------------	--------------------------------

■ 学校紹介、施設見学、入試説明などをおこないます。(午前・午後とも同じ内容です)

第2回	9/9 (土) 9:10~11:40	第3回	9/30 (土) 9:10~11:40
-----	------------------------------	-----	-------------------------------

■ 全校礼拝への参加、学校紹介に加え、実際の授業や施設も見学いただけます。
(2回とも同じ内容です)

※ご来校の際には公共交通機関をご利用ください。

※今後の新型コロナウイルス感染動向、あるいは気象警報発令などの緊急事態により、やむをえず変更や中止する場合があります。
その場合は、速やかに本校ウェブサイトで周知します。ご了承ください。

■ 体育大会 予約不要

5/13 (土) 9:00~15:00

■ 雨天時は5/15(月)に延期します。

■ 文化祭 予約不要

11/3 (金・祝) 9:00~15:00

■ 個別相談コーナー
(対象: 小学校4年生以上)を設置します。

KWANSEI GAKUIN JUNIOR HIGH SCHOOL



"Mastery for Service"

ACCESS

[大阪・神戸から最寄り駅まで]

▶ 大阪より

阪急電鉄 大阪梅田 15分 西宮北口 5分 甲東園

JR 大阪 12分 西宮
(快速停車)

▶ 神戸より

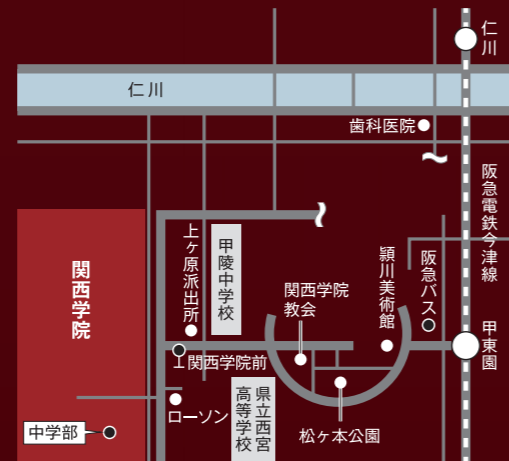
阪急電鉄 神戸三宮 15分 西宮北口 5分 甲東園

JR 三ノ宮 14分 西宮
(快速停車)

阪急電鉄 甲東園 徒歩5分または徒歩15分

阪急電鉄 仁川 徒歩15分

JR 西宮 バス15分



〒662-8501
兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155
TEL: 0798-51-0988



jh.kwansei.ac.jp

感謝・祈り・練達



学校案内 2024
関西学院中学部

Mastery for Service

“奉仕のための練達”

1889年、創立者ランバス宣教師により、わずか教員5名・生徒19名で産声をあげた本学院。

ランバスが貫いた「真の世界市民として世界万民のために献身する」生き方は、第4代院長ペーツにより、スクールモットー“Mastery for Service (奉仕のための練達)”として明文化され、国際性、自由と自治の精神、そして本学院で学ぶ意義の礎となり、約130年の時を経て総合学園となった今も、揺らぐことない魂として、教職員・生徒たちの中に流れ続けています。



5 LEARNING POINTS

芸術

ARTS

音楽・美術など、さまざまな分野の作品から得た感動を他者に伝える表現力を育む。

▶ P.13

キリスト教

CHRISTIAN EDUCATION

キリスト教主義教育の根幹。さまざまな礼拝や宗教運動から神の愛と人間の尊さを学び「いかに生きるか」をさぐる。

▶ P.05

体育

PHYSICAL EDUCATION

毎日の訓練を活かし、マラソン大会や遠泳に挑戦。フェアプレー精神を育み、努力が成功につながる自信を獲得する。

▶ P.11

読書

READING & WRITING

「問う・答える（調べる）・伝える」の学びのサイクルで、課題発見力、考察力、解決力を育み自立した探究者を育てる。

▶ P.07

英語

ENGLISH

日々英語に触れる多読や毎週の英文レポートの作成が、知識だけではなく英語で考え、発信する力を鍛える。

▶ P.09



動画で詳しく

Mastery for Service を体現するグローバルリーダーの育成。

関西学院のスクールモットー“Mastery for Service”とは「奉仕のための練達」と訳されます。キリスト教主義教育を通して、“Mastery for Service”を体現するグローバルリーダー（世界市民）を世に輩出すること、これが関西学院のなすべき使命です。関西学院が理想として掲げるグローバルリーダーとは、他者と対話し、他者に共感し、よりよい世界の創造のために力を発揮する人を指します。他者のために自らの力を発揮することは、中学部において最も重んじられる姿勢でもあります。

受験にしばられない人間教育

中学部から高等部への進学は推薦制をとっています。一定の学業成績を収め、人物・態度が推薦に値すると判断されれば全員が進学できます。そのため、高校受験にしばられることなく、社会で活躍するためのさまざまな能力を身につけ、豊かな感性を養い、人間性を磨く教育を実践しています。

高等部推薦入学率 **90%** 以上

高等部への推薦条件はおよそ以下の通りに定められています。

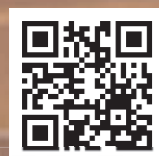
- ・建学の精神を体現する。
- ・出席日数が3分の2以上である。
- ・1学期、2学期、3学期成績の総平均点が65点以上(100点中)である。
- ・1学期、2学期、3学期成績の各教科の平均点が55点以上(100点中)である。

CHRISTIAN EDUCATION

5 LEARNING POINTS Mastery for Service

キリスト教

思いやりと高潔さを抱き、社会に仕える「世界市民」に



動画で詳しく



神の愛と人間のいのちの尊さを学び「いかに生きるか」を探る

■ 3年間毎朝 600回以上 毎朝の礼拝

中学部のキリスト教主義教育の根幹をなします。毎朝、全校生徒と教員が参加し、キリストの教え、神の愛を学び、「いかに生きるか」を考え、勇気と希望を持って生きる者としての成長を促します。

■ 宗教運動

年2回、春と秋に開催されます。ゴスペル歌手、被爆体験の語り部の方、大学の先生などを講師に招いての礼拝を実施。テーマをめぐる話し合いをしたり、感想文を書いたり、講演内容の理解を深める機会をもちます。

■ 全校礼拝参加人数 700人以上 さまざまな礼拝

イースター（復活祭）礼拝、母の日礼拝など特別な礼拝を行っています。中でも聖歌隊の合唱と共にろうそくの灯のみで行うクリスマス燭火賛美礼拝は、年間の中学部の宗教行事のハイライトと言えます。

■ 聖書科の授業

中学部では道徳の授業の代替として、「聖書」の授業が実施されています。聖書を通して、いのち・人権・平和などのテーマについて学びます。他者を尊重し愛すること、多様な価値観を認め共に生きることをキリスト教の教えから深く考えます。

■ 奉仕活動

「人を愛し、人のために尽くす」精神は、関西学院で長年継承されてきたもの。礼拝や宗教運動の話に触発された生徒たちが、インドの農村に井戸や教科書を贈る運動を始め、さまざまな活動を行っています。

■ 被災地との国際交流

2015年のネパール大震災で被災したネパールの子どもたちに絵手紙を届ける活動、同年の大型サイクロンで被災したバヌアツ共和国への支援物資として、歯ブラシや文房具を送る活動などが今も続いています。

世に仕える人となるため生涯学び続ける

聖書科の授業は、先生方がわかりやすく楽しく授業をして下さるので、テストでさえも楽しいと感じてしまうほどです。こんなに楽しくキリスト教を学べる学校は他にないと思います。そして礼拝はじっくり自分と向きあえる時間です。

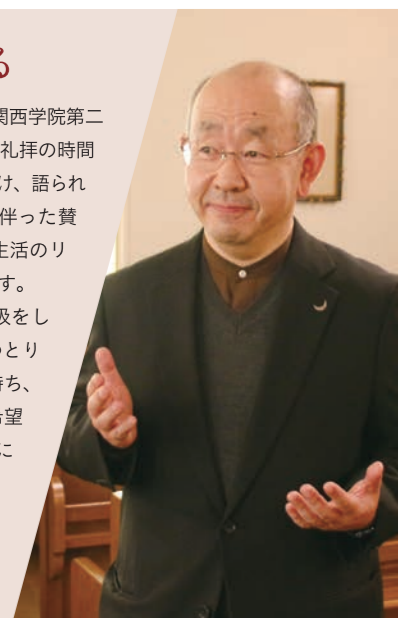
聖書の中に「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」という言葉があります。人の喜びを自分のことのように喜び、他者の悲しみや苦しみを共感する。この言葉がいつも私のそばにあります。将来はこの教えのように他者に寄り添そえるただの音声ではないメッセージとして伝わる声を使う仕事に就きたいと思っています。

2022年度 2年生
白羽 美織

「聖書と礼拝なくして学院なし」という関西学院第二代会長の言葉が示すように、中学部では礼拝の時間を大切に守り継いでいます。神に心を向け、語られる話を静粛に聞くとともに、清らかさを伴った賛美と祈りをささげることが、私たちの生活のリズムとなり、力となることを願っています。

生徒たちには、落ち込んだ時には深呼吸をして祈り、戸惑った時には天を見上げるゆとりを抱き、裏切られた時には許す勇気を持ち、妥協したり、諦めたりせずに信じ抜く希望を捨てず、聖書が示す究極の愛を目標に歩んで欲しいと思います。

宗教主事・聖書科
福島 旭



READING & WRITING

5 LEARNING POINTS Mastery for Service

読書

「問う・答える（調べる）・伝える」で繰り返す、学びのサイクル



自立した探究者を育てる - 卒業レポートの作成 -

■ 問う

図書館にある様々な資料を活用して、自分の興味関心を探ります。先行研究の理解や先生との個別相談を経て「問い」が生まれます。



動画で詳しく

■ 答える（調べる）

「問い」についての参考資料を探索します。先生との個別相談も利用しながら、仮説と論理を立てます。それらをもとに、現地調査も加えながら、「答え」としての必要情報を集めていきます。



動画で詳しく

■ 伝える

「答え」を「伝える」方法は、レポート、新聞、ポスター、レジュメなどさまざま。これらをもとにして発表（プレゼン）することで、自ら、あるいは他者から疑問が生まれます。新たな「問い」の誕生です。



動画で詳しく

■ 週1~2回の読書科の授業

読書科は、60年以上も続く中学部伝統の授業です。読書の習慣づけ、図書館の活用や、知識・情報の活用や探究の技術を行事と連携しながら体系的に習得し、学びの集大成として卒業レポートの作成を行います。

■ 8つの外部コンクールで12人受賞 さまざまなコンクールに出品

先生の指導も受けながら言語活動に関するさまざまなコンクールに参加し、読書科の授業などで培った言語能力を試みます。毎年多くのコンクールで入賞し、絵本の原作が評価され、出版された生徒もいます。

■ 中学部図書館年間貸出冊数 20,000冊以上 読書カードで読書の習慣化

どのような本を読み、どのようなことを知り、どのように考えたのか。読書カードに書いて、読書の習慣化をはかります。3年間書きためた読書カードは、自らの成長の記録でもあります。

たくさんの本と出会い自立した探究者となる

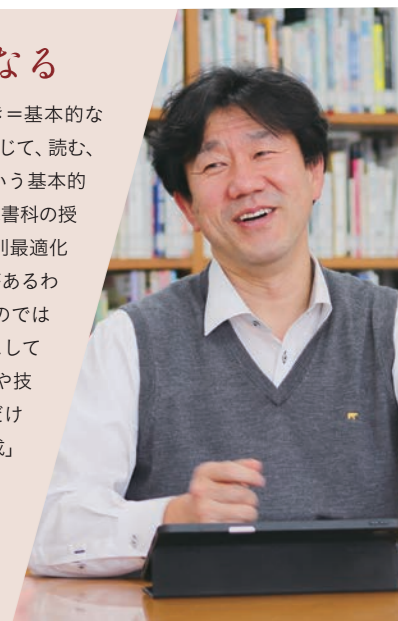
読書を習慣化することは、語彙力がつく、文章に強くなるなどのメリットがあると思っています。たった1冊本を読むだけでも多くの知識や考え方が自分の中に入ってくるので、視野が大きく広がります。

読書科の授業では、文章を書く力や情報を見極める力、資料をまとめる力が身についたと感じています。特に、「情報を見極める」ということは、読書科の授業を経験するまで考えたことがなかったので、今まで知らなかったことを学び、身につけることができました。

2021年度2年生
今東 菜々香

中学部では「読書」を「読」み「書」き=基本的なリテラシーとも理解しています。本を通じて、読む、書く、調べる、思考する、探究するという基本的なリテラシーを得ることができます。読書科の授業では、生徒一人ひとりにあわせて個別最適化のアプローチに努めること、必ず答えがあるわけではない問いに対して直線的に学ぶのではなく螺旋的に学んでもらうことを大切にしています。自立した探究のための考え方や技術を学ぶことにより、最終的には自分だけで探究ができる「自立した探究者の育成」を目標としています。

司書教諭・読書科
河野 隆一

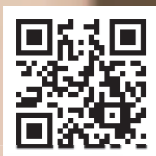


ENGLISH

5 LEARNING POINTS Mastery for Service

英語

Knowledge(知識)と Usage(使用)を統合し、「伝わる英語」を



動画で詳しく

自分の考えを英語で発信する力を養い、異文化理解を深める

■ 英文レポート作成と日々の「多読」

2年生は「英語で書くこと」、3年生では「論理的に文章を組み立て、説得力のある英文」を書く訓練として、毎週英文のレポートに取り組みます。生徒の習熟度別に合わせて授業時間の10分間で、反復練習と英語運用の基礎的な力を伸ばす「多読」を行い、さまざまなスタイルの英文を書けるように指導します。

■ 英語弁論大会

冬休みには多くの生徒が英語の弁論原稿執筆に挑戦します。優秀と認められた生徒は、その内容を英語弁論大会で発表します。このほか学外の弁論大会や兵庫県の暗唱大会にも学年を問わず本校の生徒が参加しています。

■ ティーム・ティーチング授業

日本人教員とネイティブ・スピーカーの教員が協力して指導する「ティーム・ティーチング」を導入。これにより、「英語を母語とする人の特有の表現」を学び、日本人がつまづきやすい点の克服を図ります。

■ 諸外国・地域との交流活動

海外の学校の生徒と文通をして互いの国について調べて、その内容を元にプレゼンテーションを行います。自分の英語が通じるかどうかを確認するとともに、同世代との交流を持つ機会になっています。

■ 実用英語検定試験

最終目標を一般生徒は3年生で英検2級もしくは準2級、帰国生は英検1級相当の実力を身につけることとし、実用英語検定試験の受験、希望者を対象に模擬面接など試験対策の支援も行います。



世界と繋がる喜びを知り羽ばたいていく

入学前は英語の授業が多くスピードも速いと聞き、ついていけないのかという不安がありました。実際にスピードは速いのですが、理解できないところを先生に聞くと、どこが分からないのかしっかり考えてくださり、問題を解くことができるようになりました。また、僕が所属する英語部では、ネイティブの先生が顧問にいらっしゃいます。1年生の時はあまり話すことができませんでしたが、今では自分から積極的に話しかけることができるようになってうれしいです。今後は、図書館にある英語の本を読むことに挑戦していきたいです。

2021年度 2年生
高木 彩暁

1年生からネイティブ教員が教える授業があり、早い段階から英文の暗唱や発表を行うことで、英語を使う機会を多く持つようになっています。またタブレットを使って文法や語彙の定着をはかりながら、スピーキングやリスニングの課題も実施し、楽しく英語の4技能を学べるよう工夫しています。楽しさは興味につながり、興味をもつことができれば、授業以外の時間でも取り組んでみようという気持ちになります。英語は自分の気持ち次第でいくらでも伸びます。授業をしっかり聞き、わからないことは先生にどんどん質問してください。

英語科 教諭
ジュリア・M・スラッシャー



PHYSICAL EDUCATION

5 LEARNING POINTS Mastery for Service

体育

健やかで逞しい心と体を育む



フェアプレーの心を育み「できる」自信を獲得する

■ 3年間 1人平均 900km 週4日の駆け足

水・土曜日を除く平日の7時間目に、毎日3km以上を目標にした駆け足を全員参加で行っています。当初は1km、2kmしか走れなかった生徒も、次第に持久力と体力が向上し、走れる距離が伸びていきます。

■ 体育大会

体育大会の準備は2・3年生が担当。学年を越えた1～3年生でチームを組み、さまざまな種目で競います。激しくぶつかりあう競技もありますが、フェアプレーの精神と安全管理のもとで実施しています。



動画で詳しく

■ 海での遠泳 1,000m 遠泳

青島キャンプで行います。最初は数メートルしか泳げなかった生徒も、日ごろの訓練で泳ぎ切れるようになり、自信へとつながります。コースに教員・大学生リーダーを配置するなど安全にも留意しています。

■ 保健体育の授業

総合的な体づくりのために、陸上競技・器械体操・球技・武道・水泳・ニュースポーツなどさまざまな種目のスポーツを行います。これらを通してスポーツマンシップやフェアプレー、チームプレーを学びます。

■ 男子10km 女子7km マラソン大会

日ごろの駆け足運動の成果を発揮するのがマラソン大会です。毎冬に武庫川の河川敷で開催します。「30位入賞を狙う」「完走をめざす」など、生徒一人ひとりが自分の目標を決めて参加します。

■ 心肺蘇生法の授業

2年生の保健体育の授業で、心肺蘇生法を学びます。心臓突然死についての知識を、養護教諭や医療関係者のアドバイスのもとに学びます。その上で、全員が専用キットを使用してAEDの使い方や胸骨圧迫の実習をします。



強き精神力を身につけるため己と向き合う

体育の授業では、幅広くたくさんの競技・種目に取り組むことができます。グラウンドが複数あるほか、体育館・卓球場・温水プールなどの施設が充実しており、多様なスポーツに挑戦できる環境が整っています。中学部伝統の駆け足は、初めはつらく感じることもありましたが、身体が慣れてくると、つらさよりも、身体が鍛えられていく達成感に変わります。全員が参加する駆け足を通して、体力をつけるだけでなく何事も我慢強く続けなければそれが結果に結びつくということ学びました。また、学年を超えて駆け足に取り組むからこそ、クラス・学年を問わず団結できる学校の良さが生まれていると思います。

2022年度 2年生
門脇 瑛人

中学部では、暑い日も寒い日も駆け足が実施されます。駆け足を通じて、しんどいことに対して我慢する力や、それでも頑張ろうとする姿勢が上級生になるにつれ見られるようになり、開始前から自主的に走る生徒が増えると頼もしく思えます。保健体育の授業では、失敗しても積極的なプレーや試行（思考）錯誤を評価しています。得意種目の実力を伸ばす力。また苦手な種目に対しても目標を設定し、どうしたらできるようになるかを考え、練習し克服していくプロセスを経験し、将来への糧として欲しいと考えています。

保健体育科 教諭
山道 修平



ARTS

5 LEARNING POINTS Mastery for Service

芸術

心が揺さぶられる感動体験を通して
豊かな心を育む



自分を表現できる喜びと感動できる心を育む

■ 音楽コンクール

文化祭の最初に行われる、各学年クラス対抗の音楽コンクール。指揮者、伴奏者、パートリーダーの生徒を中心に、練習を繰り返し、本番では美しい合唱を披露します。一生懸命に取り組む大切さを実感し、クラスの絆を深めます。



動画で詳しく



■ 美術展

文化祭の美術展では、生徒全員の作品を展示。友人や先輩、後輩の作品を鑑賞し、感想を聞き、新たな目標を発見します。3年生制作の最優秀ポスターは文化祭パンフレットの表紙になります。

■ 演劇コンクール

文化祭ではクラス対抗の演劇コンクールも実施されます。演劇の経験がない生徒たちが脚本の執筆から配役、使用する音楽、照明などの効果のすべてを自主的に行います。総合芸術である演劇を通して、一つの劇を作り上げる過程で自分の得意なことを見つける機会にもなっています。

■ 芸術鑑賞会

さまざまな芸術にふれる機会として、年に一度芸術鑑賞会を行っています。学内外で演奏や伝統芸能を鑑賞します。プロの芸術や生の表現から得られる感動は、生徒自身の表現活動へとつながる貴重なものです。

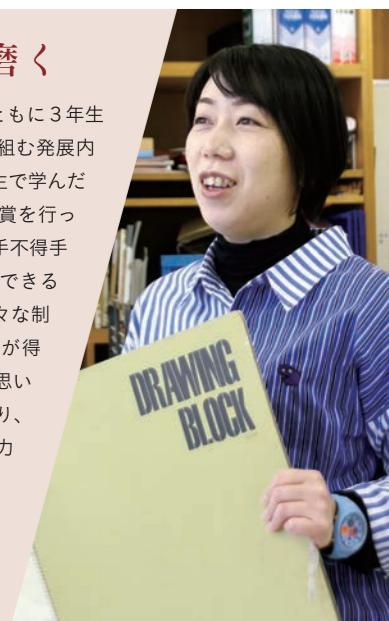
表現の自由を知り多様性ある世界観を磨く

音楽コンクールは3年生の学年合唱が印象に残っています。力強い男声と響き渡るソプラノとアルトがひとつになり、音におされた感覚を今でも覚えています。コンクール前のクラス練習では、初めはうまくまとまらず、限られた時間を有意義に使うことができませんでした。ですが徐々に声かけがふえ、スムーズに進むようになりました。コンクールが終わっても声かけは続いていて、クラスが音楽を通してより一つになれた気がします。コンクールやクラス展を通して、お互いの意見を出し合い、協力し合うことの大切さを実感しました。

2022年度 2年生
西久保 凜心

美術の授業では、表現分野・鑑賞分野ともに3年生になると、自分で意思決定して取り組む発展内容になりますが、生徒たちは1・2年生で学んだことを活かして楽しみながら制作や鑑賞を行っています。芸術の分野は好き嫌いや得手不得手がはっきり分かれる教科だからこそ、できるだけ多くの作品に触れること、また様々な制作経験により、「なぜ好きなのか」「何が得意なのか」を自分で見つけて欲しいと思います。芸術を通して、自分自身を知り、自分の考えを作品や言葉で人に伝える力をつけてもらいたいと考えています。

美術科 教諭
矢形 信子



4つの視点 × 関学

中学部生・高等部生・大学生・社会人
それぞれの視点から見た
関西学院中学部での学びを語り合う



関西学院中学部
2021年度 3年生
二上 真緒里さん

PROFILE

吹奏楽部の部長。
担当楽器は打楽器。
打楽器演奏のコンクールで県大会出場。



関西学院高等部
2021年度 1年生
横山 大輔さん

PROFILE

中学部生徒会長。
中学部ではタッチフットボール部主務。中心選手としても活躍。



関西学院大学
2021年度 3年生
山本 佳奈さん

PROFILE

中学部では図書部部長。関西学院大学の在学中に公認会計士の資格を取得。



株式会社毎日放送 勤務
笹山 大生さん
(関西学院大学 2014年卒)

PROFILE

中学部では野球部。ポジションはセカンド。現在 MBS (毎日放送) の人事部で活躍中。

師とともに 心と知を育む旅へ

横山：中学部には、先生と生徒がともに学び、共に生活するという「師弟同行」の精神が根付いていると思います。僕にとっては、駆け足のときに先生と一緒に走って競い合ったことが印象的ですね。

山本：駆け足といえば、私はマラソン大会で当時の中学部長と一緒に走ってくださったことが思い出に残っています。マラソンが苦手だった私に寄り添ってくれたことがとても嬉しく、人の温かさや「他者のために」という精神を実感しました。

二上：私は、「師弟同行」とは切っても切り離せない「強い絆」という意味を持った言葉で、一緒に旅をするような関係性を表していると思っています。



「師弟同行」の精神

「師弟同行」は中学部創設以来の伝統です。先生も生徒とともに学びます。毎日の駆け足やマラソン大会、キャンプでは先生が生徒と一緒に汗を流します。相談を受けた先生は生徒と一緒に考え、目標を達成するまで見守ります。常に生徒とともに歩む姿勢で生徒に接しています。

笹山：一緒に旅をする、良いですね。私も皆さんと同じく、ともに考え、ともに学ぶことだと思います。また、「謙虚な心を持つ」ということも師弟同行が意味するところではないでしょうか。様々な場面でリーダーシップを求められることがありますが、他者の気持ちを考えない自分勝手なリーダーは信用されません。謙虚な心を持って相手を思いやる人こそ、周囲の信頼を集められますよね。

二上：リーダーシップの話聞いて、大学生コーチのことが思い浮かびました。コーチはいつも私たちのことを考えて寄り添ってくれました。部長だった私を支えてくれ、吹奏楽部の3年間、一緒に笑って、悩んで、泣いてくれた大学生の先輩は私にとって憧れの存在です。



横山：大学生コーチから学べることは本当に多いですね。僕は、アメリカンフットボール部に所属していますが、大学アメフト部から先輩たちが教えに来てくれます。日々の練習でたくさんのことを教えていただけるのはとても大きいことだと思います。

笹山：確かに、部活に大学生が来てくれたのは大きい！他には、青島キャンプなどでも大学生と一緒に過ごしますよね。当時、私たちが間違った行動をとってしまったときに大学生が厳しく本気で指導してくれたのを覚えています。人として大切なことを大学生から教えてもらいました。

山本：キャンプや部活動、懐かしいです。中学部では受験に使う時間を部活や自分の興味の追究、挑戦に使うことができ

るのは良い環境ですね。私は中学部時代、検定の取得や大学主催のビジネスコンテストへの参加に挑戦しました。臆せず挑戦する力は、大学でも様々なことに活かしていると思います。

中高大一貫だから 生まれる学びと絆

笹山：そうですね。今思い返してみると、中学部では受け身ではなく生徒がイキイキと発言をし、自分の思いを表現する場面が非常に多かったように思います。中高大一貫校だからこそ、受験のための教育ではなく、将来に生きる教育だったなと改めて感じます。

山本：先生方も生徒の自主性を尊重し、挑戦を後押ししてくれる環境がありますよね。のびのびと自由な校風の中学部で、新たなことに挑戦することや努力して目標を実現することの楽しさを学んだと思います。

二上：先輩方の話を聞いて、私も学びの姿勢を崩さず、継続して新しいことを学んでいきたいと思いました。まだまだ自分が知らないことがたくさんあると思うと、これから勉強していくのが楽しみです。

横山：僕も、自分が好きな国語や社会をより専門的に学び、いつか大好きな中学部で教師ができるよう努力していきたいです。高等部・大学では、たくさんの本を読んで様々な人の考え方に触れ、また、中学部のキャンプにOBとして参加したいです。

笹山：これから中学部に入学する皆さんにも、ぜひ中高大一貫校の良さを存分に活かして欲しいですね。受験勉強がない分、自分がやりたいことをすることも、自分がやりたいことを探し求めることもできます。是非それを中学部の3年間で見つけてください。



読書科

自立した探究者の育成

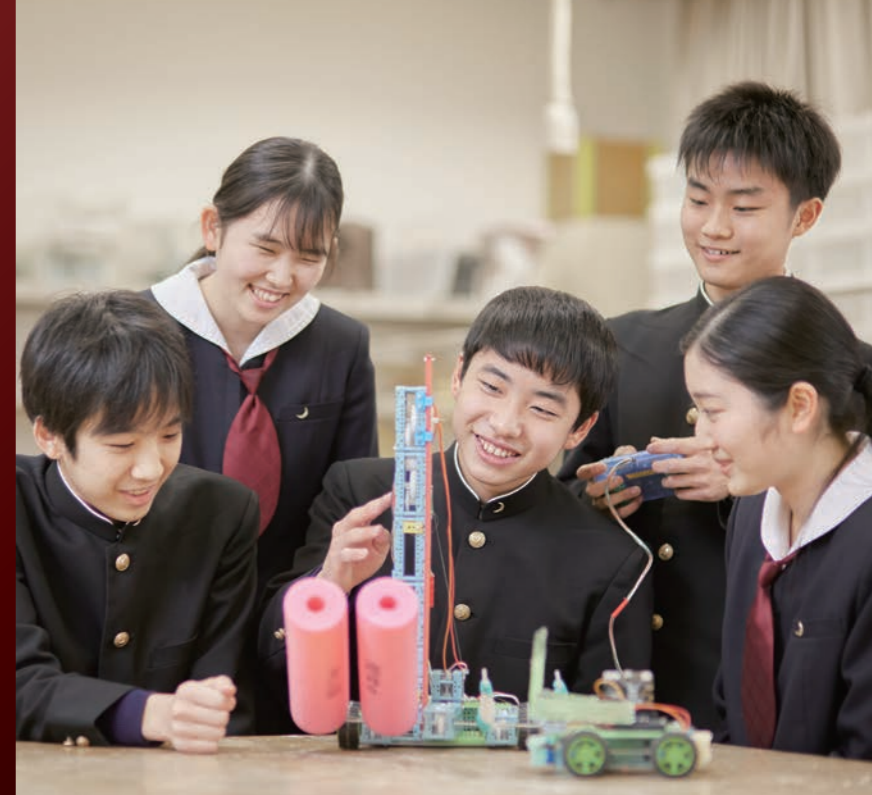
読書科の授業では、自ら課題を見つけ、その課題を解決するための方法・技術・考え方を学びます。図書館を使いこなすことはもちろん、ICTも活用することで多くの情報を収集します。2年生の冬からは、卒業レポートの作成をスタート。一人ひとりが独自の「問い」を探し、納得いくまで探究を続けます。授業を通じて、主体的に学ぶ力だけでなく、多様な情報を正しく扱う力、物事を俯瞰しバランスよく判断する力も育み、社会に必要な基礎力を身につけます。



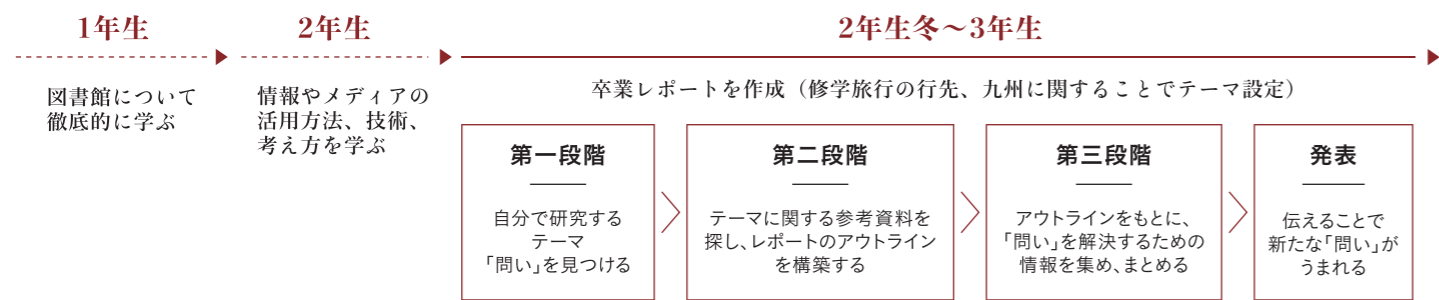
技術・家庭科

ものづくりを通して「正解の決まっていない問い」に挑む

技術・家庭科の授業では、「自由な発想力」や「創造力」を鍛えます。中学2年生では班ごとに分かれ、各チームが「創造ロボットアイデアコンテスト」への出場を目指してアイデアを出し合い、0からオリジナルロボットを制作していきます。またアイデアを仮想空間で形にするKGクラフトでは、それぞれの視点から問題点を探し出すことで、考えをより深めていきます。「正解が決まっていない問い」にチームで力を合わせて挑戦することを通じて、「ものづくりの本質」を経験することができます。



ORIGINAL PROJECT INSIDE THE SCHOOL



ORIGINAL PROJECT INSIDE THE SCHOOL

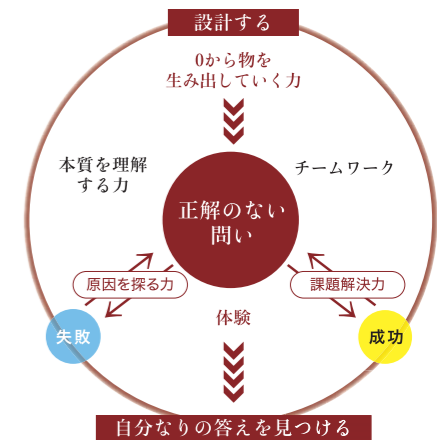
自分たちで設計するところから始めるだから、見つけられる

授業を通して身につく4つの力

- 自分たちのアイデアを出し合う **発想力**
- 0から物を生み出す **創造力**
- トライアル&エラーを繰り返しながら完成させる **課題解決力**
- チームで力を合わせて目標を達成する **協働力**

仮想空間で校舎改造!?

KGクラフトでは、「今の校舎をより快適で理想的な環境にするためには」という課題にアイデアを出し合い、1つのワールド(仮想空間)でクラス全員が作業を進めます。そのためには互いの意思疎通が重要で、コミュニケーション力と限られた時間での問題解決力が必要です。ゲームの仮想空間での経験を通じて、現実の問題に取り組むための力を身につけていきます。



“Crescent Grace”
優勝(全国大会出場)/プレゼン大会受賞



“ジャガーノート”
ロボコン大賞(最優秀アイデア)他多数受賞



「情報を精査し、多面的に見る力がついた」

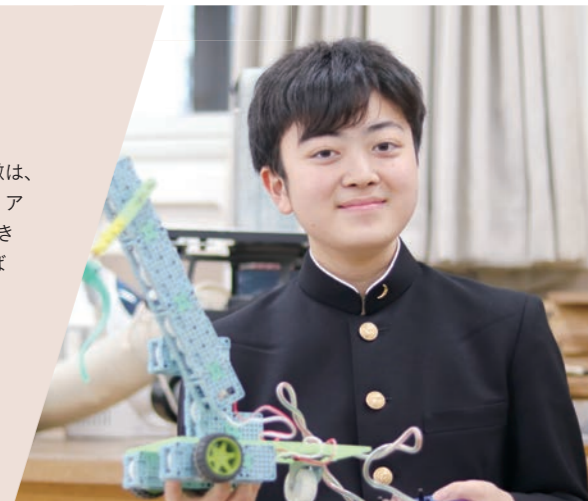
2022年度 3年生 吉見 光生

読書科の授業では、ノートパソコンを使って卒業レポートの資料集めやレポートの作成をしています。課題もWEB上で提出し、わからないことがあれば、WEB上で先生が対応して下さいます。卒業レポートの作成では、約7万冊ある中学部の図書館や大学の図書館を利用しました。WEBや新聞での情報収集は、図書館にあるパソコンを使いできるだけ事実を様々な側面から捉えることを意識しました。レポートのテーマである長崎でのフィールドワークでは、長崎駅で地元の方に直接インタビューし、本や新聞で調べたことが本当にあるのかを確認することができました。調べてきた知識を活かして、偶然出会った方とお話するのは新鮮で楽しかったです。夏休みには読書感想文や映画の感想について外部のコンクールにも応募し、本や映画について、より理解を深めることができました。

「いろんなアイデアをかたちに」

2022年度 2年生 米正 優玄

技術科の授業で、どんな状況でも対応できるロボットを作りました。このロボットの特徴は、アームの先端が三叉になっており、回転する仕組みになっていることです。そのため、アイテムがどんな向きであっても取ることができるので、簡単にゴールに入れることができます。制作する過程で、うまく動かないときは、同じ班員と協力し、どのようにすれば直るのかということ話し合ったり、違う部品に変えてみたり、導線を強化するなど試行錯誤を繰り返しました。どんなアームにすればよいのか迷っている時にはそれぞれのアームの良さを先生が説明して下さい、それを参考に決めることができました。ロボットの良くない部分も指摘して下さい、それを改善につなげました。今後はまだ誰も作ったことがないようなものに挑戦し、使う人に喜んでもらえるような役に立つものを作りたいと思っています。



キャンプ

野外での共同生活を通して
「勇気」と「献身」を体験する

中学部教育における大きな特徴の一つがキャンプです。
助け合いの気持ちと自立心、困難に立ち向かう精神力などを
養います。1年生は入学式直後に行われる新入生オリエンテー
ションキャンプ、2年生は夏休みに青島キャンプに参加します。
ともに学ぶ仲間と非日常の環境の中で生活することによって、
普段の生活がいかに恵まれているものかを知るとともに、
みんなのために汗を流すことの尊さを体験します。



国際交流

世界に視野を広げ、
世界のために貢献できる資質を養う

日本とは違う国・地域の文化や歴史、人、社会を理解し、
偏見を持たずお互いを尊重する姿勢を育むことを目的に、
インドへの親善訪問旅行や英語圏への研修旅行を実施。
英語の上達だけでなく、生徒の視野を世界に広げる機会となり、
これからの時代に欠かせないグローバルな精神を養い、
将来、世界のために貢献することができる
資質を身につけます。



ORIGINAL PROJECT OUTSIDE THE SCHOOL

grade 1

入学式直後に実施 新しい友人とともに共同生活

1年生は中学生生活の第一歩として新入生オリエンテーションキャンプに参加します。場所は三田市の関西学院千刈キャンプ場、2泊3日の日程で、新しい仲間たちと共同生活を行います。キャンプには新3年生と大学生のリーダーが同行し、新入生は先輩の姿を間近に見ながら関西学院精神を学びます。泥まみれになりながらラグビーをする「メチャビー」で、泥をかぶりながらゴールをめざす「勇気」や、ボールを持った仲間をサポートする「献身」を体験します。

EXPERIENCE PROGRAM

- 開会・閉会礼拝
- 野外炊さん
- メチャビー
- キャンドルライトサービス
- クラス旗作成
- キャンプデューティー(キャンプ場内の片づけ) ほか



grade 2

青島キャンプ

無人島で自分たちの力で過ごす 4泊5日の「中学部の成人式」

2年生が体験する青島キャンプは「中学部の成人式」と呼ばれています。電気もガスも水道もない瀬戸内海の無人島・青島で、仲間とともにテントの設営から火起こし、食事づくり、草刈り、トイレの清掃、生ごみの処理まですべて生徒たち自身で行います。キャンプという不便な生活のなかで日々の生活の豊かさに感謝し、自主的な行動の大切さや集団で生活する意味などを学びます。失敗を恐れず挑戦する姿勢を育み、身も心もたくましく成長する大事な行事です。

EXPERIENCE PROGRAM

- テント設営
- 全体ワーク(島の開拓)
- 遠泳(1km)
- 班別自由行動
- カウンシルファイヤー
- キャンプデューティー(島内を自然の状態に戻す) ほか



grade 3

インド親善訪問旅行

40年近いつなかりを大切に「多様性」を学びあう

1983年から夏休みに3年生を対象としたインド親善訪問旅行を行っています。当初は生活基盤の援助活動が目的でしたが、現在は農村部の訪問を通して交流を行い、世界の課題を考える機会となっています。コロナ渦でもオンラインで交流会を持ち、農村部で活動を続けるNGO団体への献金を送りました。



オセアニア英語研修旅行

ニュージーランドのホームステイで異文化に触れよう

2014年度より夏休みの約2週間、ニュージーランド・クライストチャーチ市にあるミドルトン・グレンジ校でホームステイをしながら、現地の子供たちと文化交流を続けてきました。さらに2025年度より2年生の3学期にターム留学を始める予定です。期間は1月から4月上旬です。

その他の海外研修

2016年度冬休みより、1〜3年生対象の韓国パジュ英語村での国際交流プログラム(SKYUS、トップツアーズ主催)に多数の生徒が参加しています。また、今夏より3年生対象で実践活動型米国短期留学 ALEX(ジャイロスコープ主催)に参加し、アメリカ・ロードアイランド州でのホームステイやボランティア活動を行う予定です。



Message From GRADUATES

卒業生の言葉



動画で詳しく



1929年中学部(旧制)卒
日野原 重明 聖路加国際病院名誉院長 (2017年7月18日没)

関西学院で学べたことに感謝しています

関西学院の聖書の時間に学んだ「善きサマリヤ人」のように、医者として人種や年齢を超えて、病む人のために生涯をささげるのが私の務めであると考えています。そういう意識、そういうスピリットが、中学部の間に私に植え付けられたのではないかと考えています。医者でありながら世界中で宣教活動や教育に従事したランパス先生をはじめ素晴らしい先生方によって支えられてきた関西学院で学べたことに感謝しています。



2016年中学部卒
松本 真実 関西学院大学国際学部卒
株式会社ファーストリテイリング 2024年度就職

中学部での学びの大切さを実感

中学部での読書科の授業がリテラシーの基礎を創ってくれたと感じます。読書の習慣がついたことで文章への苦手意識がなくなり、大学の卒業論文でも抵抗なく、楽しんで執筆することができました。中学生のうちから名作に触れ、感受性が豊かになって共感性が強くなったことも就職で採用された一因だと思っています。また毎朝の礼拝では、先生方の経験談をもとにした非常に深い話が多く、自身を内観することができ、自分に素直に向き合えるようになったと思います。



2018年中学部卒
中野 紗羽 関西学院大学社会学部2年生

ここにしかない学びと仲間との出会い

英語の授業が毎日あったことで英語に興味を持ち、大学でカナダへ留学するきっかけになりました。また読書科の授業でのレポートの書き方や参考文献の扱い方は大学でも役立っています。英語科と読書科の授業は関西学院中学部ならではの特徴があります。そして、部活動でもダンス部のキャプテンとして、仲間と多くのことを共有できたことは私にとって貴重な経験でした。振り返ると、感謝・祈り・練達と言葉通りに学び、充実した中学部生活を送ることができました。



1995年中学部卒
城戸 武洋 独立行政法人国際協力機構(JICA) 審査部 投融資審査課 課長

良き師・友・先輩に出会える学びの場

中学部での学びを通じて「海外の困っている人のために尽くしたい」という思いを持ち、関西学院大学で途上国の開発を学んだほか、民間企業や海外大学院で経験を積み、現在、途上国の経済・社会開発を支援する仕事に就いています。部活動やキャンプに、卒業生である関西学院大学の学生が参加してくれるのが中学部の魅力だと思います。良き先生や友人、先輩と出会う環境の中で、自分の将来をじっくりと考えてみてほしいと思います。



1973年中学部卒
薄井 修司 株式会社ウエルネスサプライ 代表取締役社長

人生の根幹を形成する場になった中学部

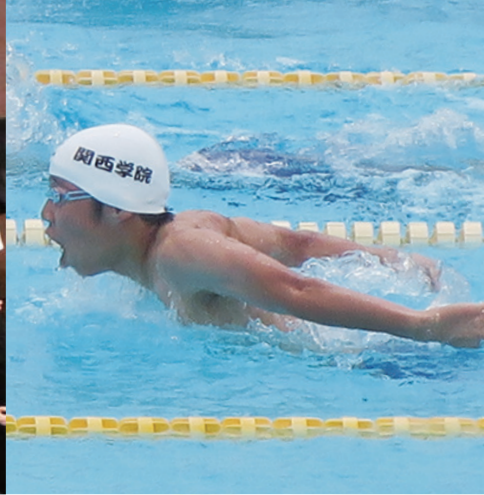
中学部は、私にとって自分の生き方の根幹を形成した場になりました。仲間と助け合うキャンプやメチャピー、日々の礼拝など、学校生活を通して自然と“Mastery for Service”というスクールモットーが浸透していきました。特に、先生方が何事にも親身になって対応してくれたことが大きかったです。同じく中学部で学んだ息子にも、関学の精神がしみ込んでいると思います。これからも社会のため、人のために務めたいと考えています。



1996年中学部卒
橋本 直 吉本興業株式会社所属 漫才コンビ「銀シャリ」メンバー

中学部に入ってなかったら、たぶん芸人やってないです

中学部の生徒はみんな自立していて意識が高かったので、「えー、もうそんなこと考えてんのや？」と思うことが多かったです。積極的に活動したり、何かにめっちゃくちゃ詳しくあったり。そんな生徒達が互いに「オモロイやつやん」と個性を尊重していて、非難したり排除したりしない。それで、自分も堂々と自分の個性を主張できるようになったのかなど。中学部に入ってなかったら、たぶん芸人やってないですね(笑)。



クラブ活動

運動総部

＜男子・女子＞

バスケットボール部
陸上競技部
サッカー部

水泳部
テニス部
剣道部

卓球部
ラグビー部
ダンス部

＜男子＞

タッチフットボール部

＜女子＞

バレーボール部



動画で詳しく



関西学院大学 2021年度4年生 徳富 敦也

2021年度 サッカー部2年 片山 航也

中学部でサッカー部に所属していた頃、顧問の先生や先輩方が熱心に指導してくれた姿に憧れ、私も中学生の助けになりたいと思いコーチになりました。「経験だけで教えないこと」、これはコーチになって顧問の先生に初めてもらった言葉です。経験だけでなく、常にそれぞれの選手にあった多様な方法でアプローチができるよう勉強しています。また、コーチを務めたことで自らの成長も感じています。相手の気持ちを考えること、周りをよく観察することを含めたリーダーシップや、学び続ける大切さを実感することができました。

小学校からサッカーを続けてきましたが、中学に入って新しいポジションに挑戦することになりました。最初のころは全然上達せず、悩んでいた時期もありました。そんな時にOBのコーチから様々なアドバイスをもらったことで、どんどん実力がついていきました。サポートしてくださったことに、感謝でいっぱいです。大学生の先輩たちは授業や課題でいそがしいにも関わらず、僕たちにサッカーを教えてくれているので、自分自身も後輩たちにサッカーを教えられるような大学生を目指したいです。



クラブ活動

文化総部・宗教総部

<文化総部>

- 美術部
- 図書部
- グリークラブ(合唱部)

- 吹奏楽部
- 理科部
- 英語部

<宗教総部>

- J.H.C. (宗教部)
- 聖歌隊



動画で詳しく



2021年度 吹奏楽部2年 野崎 れあ

2017年中学部卒 長手 鈴佳

サポートに来てくださる大学生の先輩は、楽器のことだけではなく、部活動の運営に関しても私たちを支えてくれます。上手くいかないことがあり悩んでいるときも、親身になって部員に寄り添ってくれる大切な存在です。時には厳しく指導をしていただくこともあります。それを乗り越えたあとに自分たちの成長を実感できることがとても嬉しいです。私が大学生になったときには先輩たちのように、より良い部活動にするにはどうすれば良いかを考え、現役の部員と一緒に吹奏楽部を作っていきたいと強く思います。

吹奏楽部では、音楽の楽しさはもちろんのこと、礼儀や挨拶、コミュニケーションの大切さを学び、私自身を大きく成長させることができました。そんな中学部に恩返しがしたく、部活動のサポートを行っています。このサポートでは、人前に立って音楽的な指導をするだけではなく、人として大切にしてほしいことを伝えたり、幹部やリーダーの指導を任せさせていただいたり多くのことを経験することができました。後輩たちのステージが上手くいった時や、一人ひとりの目標が達成されたときにはとてもやりがいを感じます。将来は教師を目指しているので、このサポートで得た経験を活かしていきたいです。



ANNUAL EVENTS

年間行事 豊かな人間性や自主性、独立心を育む各種行事を実施

生徒会活動 Student Council Activities

体育大会や弁論大会などの学校行事について生徒会役員を中心に実行委員会を組織し、企画・運営に参加。このほか近隣の清掃活動、骨髄バンクキャンペーンなどの奉仕活動も行っています。

納得してもらるように自ら行動を

岡村 京香
 中学部 2022 年度 3 年生 生徒会会長



全校生徒の代表として、みんなからもらった意見をもとに、より良い学校づくりに努めています。学校行事では生徒会を中心に運営しています。みんなの要望や意見を教師会と交渉し、成功した時はとてもやりがいを感じます。中学部は伝統を大切にしている学校です。これからも伝統を大切にしながら、時代に合った新しい規則を作り、地域の方からも愛され、卒業した時に誇れる学校にしたいと思っています。



関西学院中学部
 公式 YouTube
 学校紹介や卒業生へのインタビューなど学校のありのままが伝わる動画を継続的に発信。



文化祭

5日間にわたり準備・発表が行われる、中学部の一大イベント。展示発表や演劇・ダンスのステージ、出し物、全校生徒の作品を展示する美術展などが行われます。

4

April

- 入学式
- 新入生オリエンテーションキャンプ
- 始業式

5

May

- 健康診断
- 母の日礼拝
- 新入生歓迎体育大会
- 春季宗教運動
- 人権教育講演会
- 中間試験

6

June

- 教育実習
- 花の日礼拝

7

July

- 期末試験
- 防災訓練
- 期末特別行事
- 終業式
- 3年生海洋冒険キャンプ

8

August

- 3年生インド親善訪問旅行
- 3年生英語圏への研修
- 2年生青島キャンプ

9

September

- 始業式
- 国数英課題試験
- 文芸コンクール
- 創立記念日

校外学習・修学旅行

校外学習では、事前学習をもとに生徒だけで奈良の遺跡や寺社を見学します。修学旅行では九州各地を訪れ、卒業レポートの現地調査や平和学習を行います。

10

October

- 中間試験
- 秋季宗教運動
- 人権教育講演会

11

November

- 文化祭
- 3年生修学旅行
- 1・2年生校外学習
- マラソン大会

12

December

- 期末試験
- 球技大会
- クリスマス燭火賛美礼拝
- 終業式

1

January

- 始業式
- 入学試験

2

February

- 日本語弁論大会
- 英語弁論大会
- 3年生学年末試験

3

March

- 1・2年生学年末試験
- 卒業式
- 映画会
- 大掃除
- 終業式



動画で詳しく



関西学院中学部生の1日

08:20 までに登校



阪急甲東園駅または阪急仁川駅から、徒歩で登校。

08:30 授業(1時間目)



09:25 礼拝



最も大切にしている祈りの時間。毎朝、全校生徒と教員が参加します。

09:55～11:35 授業(2・3時間目)



土曜日は授業終了

11:35 昼食



HR教室や中庭、食堂で友人と弁当や学食を食べてすごします。

12:25～15:00 授業(4～6時間目)



15:10～15:35 全校駆け足(7時間目)

水曜日は通常授業(～15:55)



週4日、3km以上を目標に、全校生徒と教員も参加で実施。

15:45 終礼



放課後



多くの生徒がクラブ活動や生徒会活動に参加しています。

18:00 下校 ※冬期:11月～1月



下校完了
冬期 17:30
土曜日 16:00

SCHOOL UNIFORM

制服紹介



女子夏服カーディガン



男女セーター

女子スラックス

キリスト教主義に基づく人間教育を実践するというメッセージを込めた品格ある制服を採用。男子生徒の冬服は伝統を受け継ぐ黒の詰襟で、襟には三日月の襟章をつけます。一方、女子生徒の制服(冬服)はジャケット、ジャンパースカートに加えスラックスも導入しています。夏服は男女ともに規定のポロシャツを中心に構成しています。



FACILITIES

スパニッシュ・ミッション・スタイルの美しいキャンパスで学ぶ



- 1 中学部
- 2 高中部本部棟
- 3 中学部体育館
- 4 高中部礼拝堂
- 5 高等部
- 6 関西学院大学図書館
- 7 関西学院大学博物館(時計台)
- 8 中央芝生
- 9 第2フィールド
- 10 第3フィールド
- 11 第4フィールド
- 12 上ヶ原(バス停)
- 13 関西学院前(バス停)

関西学院中学部は大学と同じ上ヶ原キャンパスに立地しています。W.M.ヴォーリスがキリスト教主義のもとに設計した美しい校舎が特長です。中学部の生徒は、大学の図書館・グラウンド施設も利用可能です。



動画で詳しく



関西学院について



創立者
W.R. ランバス
Lambath, Walter Russell
(1854-1921)

アメリカ人宣教師W.R.ランバスは1886年に伝道の責任者として来日。1889年、キリスト教主義教育による人間教育を実践するために関西学院を創設し、その後も、国境や民族の壁を超え、世界市民(World Citizen)としての一生を送りました。



第四代院長・初代学長
C.J.L. ベーツ
Bates, Cornelius John Lighthall
(1877-1963)

1920年に第4代院長に就任。「私達が主たらんと欲する真の意味は、自分の一個の富を求めただけではなくて、それによって世に仕えるためなのである」として、「Mastery for Service」(奉仕のための練達)を提唱。現在も学院全体のスクールモットーとして受け継がれています。



新制中学部初代部長
矢内 正一
Masaichi Yanai
(1900-1984)

1947年、戦後の新制中学部初代部長となった矢内正一は、以後18年間現在の中学部の礎を築きました。イギリスのパブリック・スクールを教育の理想とし、中学部を学問と精神、身体を自己鍛錬する場として、中学部教育の支えとなる駆け足、読書教育などさまざまな取り組みを実践しました。

校章の意味



1894(明治27)年に制定された、三日月の校章。

この校章は、「今は不完全な私たちですが、新月がやがて満月となっていくように絶えず向上していきたい」という願いを表しています。

また、月は自ら光を放つのではなく、太陽の光を受けて暗い夜を照らしています。

「私たちも神の恵みを受けて、世の中を明るく照らしていきたい」。そんな願いも込められています。

院長・中学部長メッセージ



関西学院 院長 **中道 基夫**

世界市民を育む

関西学院のスクールモットー“Mastery for Service”を提唱した第4代ベーツ院長は、関西学院の教育は「生まれながらに持っている才能を導き出すことです。その目的は、学生が自分の考えを持ち、自分の言葉で語れるようにするためです。自ら進んで行動する精神と自信と自制心を育てるためです」と語りました。多様性を尊重するやわらかな心、世界を知る広い知識、しっかりと自己を持つ強さ。これこそ、グローバル化し、多様性が尊重される現代において世界市民として身につけるべき力です。130年にわたる歴史とともに、世界市民を育ててきた中学部の教育にぜひ出会っていただきたいと思います。

学院キャンパスで一生の友と出会う

正門を入ると、うつむきかげんに座る少年像があります。1933年、海で溺れた従兄弟を助けるために自らの命を投げ出した白木真寿夫さん。「友のために自分の命を捨てること、これより大きな愛はない」という聖書の言葉に生きた関西学院中学部の先輩です。仲間や隣人を心から大切に思うこと。キリスト教に基づくこの精神こそが、その人自身を真に生かしめ、豊かな人生の礎となると考えています。緑豊かなキャンパスで一生の友と出会い、切磋琢磨し、共に成長していくフィールド。それが関西学院です。



関西学院 中学部長 **藤原 康洋**

PTA・校友会活動・同窓会

関西学院後援会



関西学院の学生・生徒・児童の保護者によって設立され、関西学院の教育目的を達成するため、関西学院の教育・研究活動および正課・課外活動の活性化や、保護者とのコミュニケーションの推進と緊密化を目的とした事業などを行います。

同窓会



母校を誇りに思う卒業生が、世代を超えて集う同窓会。関西学院全体の同窓会活動に加え、中学部同窓会が単独で行う活動も積極的に実施しています。同じ学び舎で学び、現在は国内外で活躍する同窓生が有形・無形の支援を行います。

PTA



生徒・教員・家庭の三者の協力と信頼関係を重視する中学部において、PTA活動は重要なものとなります。各種学校行事への参加や、年3回の「PTAだより」発行、学期ごとのPTA集会やクラス集会など活発に活動しています。

友情によって紡がれた関学ファミリーの基盤

中学部同窓会にはすべての中学部卒業生が登録され、現在では1万人を超える大規模な同窓会になっています。各学年で行われている活発な同窓会に加えて、5年に一度合同同窓会が行われ、80歳を超える第1回生をはじめとして60年以上の卒業生が一同に集まり、盛大な式典が行われます。次回は2022年9月に中学部創立75周年記念の合同同窓会が開催される予定です。母校愛に満ち溢れる卒業生はそれぞれが友情によって横に紡がれ、中学部同窓会ではさらにその友情を縦に紡いでいきます。今やその繋がりは日本中に広がり、世代や職業の壁を越えて「関学ファミリー」の基盤を形成しています。



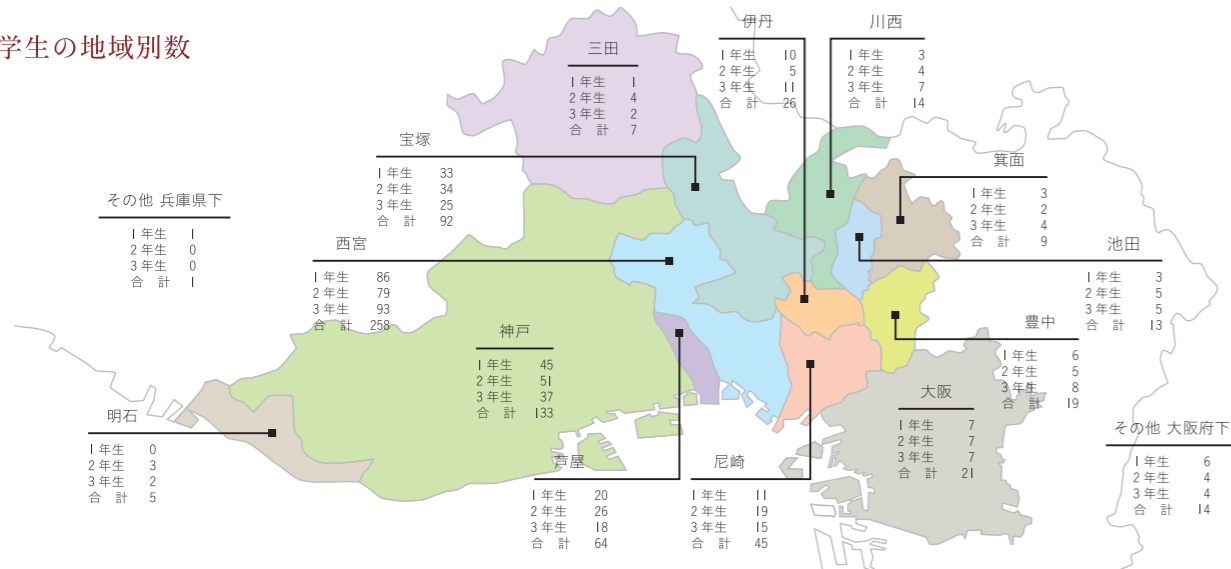
中学部同窓会長 **水野 明人**

入試データ・奨学金制度

在籍生徒数 (2023年4月1日現在)

1年生 **234**名 2年生 **248**名 3年生 **239**名 合計 **721**名

在学生の地域別数



入学試験 (2023年度)

A日程	男子(募集人数65名)	①受験者・合格者		②科目別受験者平均点			③合格者最高点・最低点		志願者・合格者	
		受験者	合格者	国語(200点)	算数(200点)	理科(100点)	最高点(A500点)(B410点)	最低点(A500点)(B410点)	志願者	合格者
		150	75	143	134	61	432	348	35	35
	女子(募集人数35名)	87	46	156	133	64	443	362	39	39
B日程	男子(募集人数25名)	157	46	141	127	—	375	312		
	女子(募集人数15名)	123	43	156	132	—	387	318		
帰国生	(募集人員若干名)	5	5	—	—	—	—	—		

入試概要 (予定) **出願資格** 2024年3月小学校卒業見込の者 **検定料** 20,000円 **出願期間** 入学試験要項に記載

Ⅰ一般入試(A日程)

2024年1月13日(土) 8:30~15:30頃	午前			午後 面接
	60分	60分	45分	
国語 200点	算数 200点	理科 100点		

■募集人員 約100名(男子:約65名 女子:約35名)
■合格発表 2024年1月14日(日)~1月16日(火)
本校Webサイト掲載

Ⅰ一般入試(B日程)

2024年1月16日(火) 8:30~12:00頃	午前	
	60分	60分
国語 200点	算数 200点	

※A日程・帰国生入試を受験した者には、合計点に10点を加算する。
■募集人員 約40名(男子:約25名 女子:約15名)
■合格発表 2024年1月17日(水)~1月19日(金)
本校Webサイト掲載

Ⅰ帰国生入試

2024年1月13日(土) 8:30~13:00頃	60分	60分	
	国語	算数	英語 面接
			保護者 同伴面接

■募集人員 若干名
■合格発表 2024年1月14日(日)~1月16日(火)
本校Webサイト掲載
① 小学校中高学年における海外での在籍年数が2年以上の者で、現地校もしくはインターナショナルスクールに在籍していた者が望ましい。
② 原則として、事前に部長または副部長との面談が必要です。

卒業生

[中学部卒業生の進路]

	2021年3月	2022年3月	2023年3月
卒業生数	239	244	250
関西学院高等部	228	230	228
関西学院千里国際高等部	0	0	1
他の高校等	11	14	21

[高等部卒業生および関西学院大学進学状況]

	2021年3月	2022年3月	2023年3月
卒業生数	369	381	382
神学部	0	0	0
文学部	28	28	25
社会学部	50	50	50
法学部	20	46	52
経済学部	70	65	61
商学部	75	75	75
人間福祉学部	25	21	20
国際学部	25	25	25
教育学部	15	16	8
総合政策学部	17	10	6
理学部	2	2	3
工学部	12	13	16
生命環境学部	4	4	8
建築学部	6	7	12
合計	349	362	361

●他大学合格状況 2023年(現役): 国際基督教大学・慶應義塾大学・防衛大学・兵庫医科大学

学校生活への質問

Q1 共学化しましたが、男女比はどうなっていますか?

A1 男女比は約5:3で構成しています。入試もこれを前提とし、一般入試の募集定員は男子約90名、女子は約50名となっています。

Q2 登下校はどのようなルートになりますか?

A2 阪急電車を利用する生徒は、最寄の甲東園駅か仁川駅から徒歩で通学します。また、西宮北口・JR西宮方面からの登校についてはバスの利用を認めています。「一ヶ谷町」か「愛宕山」で下車し、そこから徒歩で通学します。中学部生の自転車通学やバスの使用は原則認めていません。

Q3 携帯電話やスマートフォンの扱いはどうなっていますか?

A3 学校に持ってくることは認めていません。また、学校としてはSNSの利用などは推奨していません。

Q4 昼食はお弁当を持参ののですか?

A4 入学当初はお弁当持参ですが、「食堂利用の方法」を学年で指導したあとは食堂利用も可能です。成長期の栄養バランスを考慮し、中学部生は「ヤングランチ(510円/小470円)」を食べるルールになっています。それに加えて食堂内のパンショップで軽食を購入することもできます。支払いには生協カード(ICカード)、現金のどちらでも可能です。

Q5 制服や体操服以外の制成品はありますか?

A5 制服や体操服以外に制成品はありません。通学カバンは華美なものではなく自由です。通学の際の靴は、黒色の装飾のない革靴(タッセルやヒールは不可)か黒色の運動靴(靴紐や靴裏もふくめて黒一色のもの)と定められています。

Q6 奨学金について教えてください

A6 関西学院では、経済的な理由により学ぶことをあきらめざるを得ない生徒がいないように願っています。そのためいろいろな奨学金を用意しています。

- ① 関西学院高等部・中学部支給奨学金
年間授業料の1/2
- ② 関西学院高等部・中学部貸与奨学金
第1種 年間学費(授業料+教育充実費)の2分の1
第2種 年間学費(授業料+教育充実費)の3分の1
第3種 年間学費(授業料+教育充実費)の4分の1
- ③ 関西学院高等部・中学部特別支給奨学金
年間授業料の全額